

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	プログレッシブ 特進一貫	社会	地理・公民		必修	3

講座のねらい

1 学期には、1 学年で学習した世界の地理に関する知識に加え、日本の地理を学習します。世界および日本の地形・気候・自然・産業などを、地理的な見方・考え方を養いながら、世界と日本の諸地域を学びます。さらに、日本と世界の関わりに注目し、世界の諸地域の特徴を捉えていきます。

2・3 学期には、公民的分野を学習します。人権や民主主義の成立過程を学び、それらに基づく日本の法・政治・経済について学習していきます。さらに、日本のみならず、諸外国との関係や地球規模の課題も考えていきます。

使用教材及び問題集

《地理的分野》教科書：「新編 新しい社会 地理」 東京書籍
「新編 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク 地理」 東京書籍
資料集：「アクティブ地理 総合 世界・日本」 浜島書店
問題集：「ウイニング地理 I・II」 好学出版
地図帳：「中学校社会科地図」 帝国書院
《公民的分野》教科書：「新編 新しい社会 公民」 東京書籍
資料集：「新しい公民」 浜島書店
問題集：「ウイニング社会 3」 好学出版

授業の内容と進め方

地理的分野では、教科書と資料集を利用して地理的な視点を養っていきます。さらに、地図帳を使って自ら主体的に地図を読み取り、調べる作業を行います。各単元終了後、問題集にて知識の定着をはかります。

公民的分野では、教科書をしっかり読むことで、基礎的な概念、用語を習得した上で現代に起こっている社会的事象を学びます。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

講座の到達目標

地理的分野では、まず、地球や世界の諸地域の特徴を理解し、地理的認識を養います。さらに、日本の地域構造や特色を理解します。様々な地域を比較・関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の共通性と多様性を理解します。

公民的分野では、人権に対する正しい認識を身につけ、民主主義の意義、法、経済活動に関する学習を通じて、個人と社会との関わりに対する理解を深めます。また、国際社会の諸問題を扱い、現代の社会的事象に関心を高めるとともに、現在や未来の社会に対して多角的、また公正に判断する力を養います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査、課題考査、小テスト、宿題やノートなどの提出物、授業や学習に取り組む態度など、総合的に評価します。授業では、単元ごとに問題集等、授業内容の復習ができる課題を宿題とします。長期休暇においても復習中心の課題を出し、各学期ごとに課題考査を実施します。

備考

生徒の学習状況、理解の度合いなどを考慮し、講習などを行う場合があります。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

《地理的分野》

- 第3章 世界の諸地域
 - 1節 アジア州
 - 2節 ヨーロッパ州
 - 3節 アフリカ州
 - 4節 北アメリカ州
 - 5節 南アメリカ州
 - 6節 オセアニア州
- 第4章 世界のさまざまな地域の調査
- 第2編 日本のさまざまな地域
 - 第1章 日本の姿
 - 第2章 世界から見た日本の姿
 - 第3章 日本の諸地域
 - 1節 九州地方
 - 2節 中国・四国地方
 - 3節 近畿地方
 - 4節 中部地方

2 学期 学習計画および学習内容

- 5節 関東地方
- 6節 東北地方
- 7節 北海道地方
- 第4章 身近な地域の調査

《公民的分野》

- 第1章 現代社会と私たちの生活
 - 1節 現代社会の特色と私たち
 - 2節 私たちの生活と文化
 - 3節 現代社会の見方や考え方
- 第2章 個人の尊重と日本国憲法
 - 1節 人権と日本国憲法
 - 2節 人権と共生社会
 - 3節 これからの人権保障
- 第3章 現代の民主政治と社会
 - 1節 現代の民主政治

3 学期 学習計画および学習内容

- 2節 国の政治の仕組み
- 3節 地方自治と私たち
- 第4章 私たちの暮らしと経済
 - 1節 消費生活と経済
 - 2節 生産と労働
 - 3節 価格の働きと金融
 - 4節 政府の役割と国民の福祉
 - 5節 これからの経済と社会
- 第5章 地球社会と私たち
 - 1節 国際社会の仕組み
 - 2節 さまざまな国際問題
 - 3節 これからの地球社会と日本
- 終章 より良い社会を目指して